

取扱上のご注意

選択上のご注意

1. 防火性について

建築物の内装仕上げは、建築基準法により防火上の基準が定められており、建築物の用途や規模・構造に応じて防火材料の使用が義務づけられています。壁紙の防火性能は、下地基材や施工方法との組合せによって決まりますので、事前にご確認ください。

2. 使用環境について

高温、高湿、水漏れの環境や屋外での使用は避けてください。

3. 柄合わせの必要な商品について

柄合わせを要する商品は、リピート表示のない商品よりも要尺が多くなります。なお、商品は施工糊の水分や温湿度によって伸縮するため、表示寸法と実際の商品では多少の差異が生じます。表示寸法は要尺を算出するための目安としてご覧ください。

4. 施工費について

輸入壁紙は施工費が割増になる場合があります。あらかじめご確認の上、商品選択をお願い致します。

5. 見本・サンプル・写真について

製造ロットの違いにより、見本やサンプル帳と実際の商品が若干異なる場合があります。なお、施工例写真は、照明の影響や印刷の都合上、実物と多少違って見える場合がありますので、ご了承ください。

6. 壁紙商品上の特性について

フラットな商品のため、ジョイント部が比較的目立ちやすい傾向にあります。これは塗装とは異なり、つなぎ合わせて施工する壁紙である限り避けることのできない商品特性です。あらかじめご了承ください。

7. 商品の仕様変更・供給について

改良その他の事情により、予告なく仕様変更を行なうことがあります。また、生産中止などにより供給不能となる場合があります。あらかじめご了承ください。

荷扱い・保管上のご注意

1. 無理な運搬はしない

人力で取り扱われる際には十分な安全確保をし、腰痛などの原因となる無理な運搬はしないでください。

2. 高所から落とさない

商品は、トラックの荷台などの高いところから落とさないでください。商品の破損やケガなどの危険を伴います。

3. 保管上の注意点

保管場所は、火気・水・湿気・直射日光を避けてください。また、商品を地面へ直に置いて保管しないでください。

商品受領時のご注意

1. 商品確認

受領時には、納品書と商品現品、ロット、数量を確認してください。万一、ご注文品と違う品番や規格外の商品が納入された場合は、購入先へご連絡ください。

2. ロット違い商品について

ロット違いの商品には、色差などが生じることもありますので、同一ロット品をご使用ください。できれば一巻の至近の箇所同士を張り合わせてください。

施工上のご注意

以下の内容は、壁紙全般についてのご一般的な注意事項です。特に注意の必要な商品については、各商品の施工要領をご参照ください。

下地の調整

1. 下地と同色のパテを使用

必ず下地と同色のパテをご使用ください。下地と異なる色のパテを使用しますと、施工後、下地の色が透けて見える場合があります。また、下地からの影響を防ぐためにも文字や汚れはきれいに処理してください。

2. きれいな仕上がりは平滑な下地から

施工後の不陸を防ぐため、下地は平滑に仕上げてください。また、ネジ・クギ類は施工後の変色を避けるため、突起を完全に沈め、サビ止めをしてください。

3. 下地や状況に応じたシーラー処理を

ベンキ・コンクリート・モルタル・木質系下地の場合は、それぞれ専用のシーラーで必ず下地処理をしてください。特にベニヤなどの木質系下地に直接施工した場合、時間がたつとシミや変色の原因になります。シーラーは接着不良や変色を防ぎ、リフォーム時に剥がしやすくなります。

4. 下地は乾燥させてから

コンクリートやモルタルなどの湿式下地、およびシーラー、パテを施した箇所は十分に乾燥（目安として水分率11%以下）してから施工を開始してください。乾燥が不十分な場合、壁紙の変色・剥がれ・カビが発生することがあります。

5. オイルステインなどの下地は避ける

オイルステイン、ニスなどを使用している下地や近接した場所への施工は避けてください。変色の原因になります。

6. カビが発生している場合

張り替え時、下地にカビが発生している場合は、十分にカビを殺菌し、乾燥させてから施工してください。

7. 浮いた裏打紙の処理

張り替え時、下地面に残った裏打紙（残紙）は剥がしてから施工してください。残紙が浮いたまま施工しますと目障りなどの原因になりますのでご注意ください。

施工糊と施工環境について

●施工環境に合わせた準備

冬期など低温時には壁紙が硬くなり施工しにくくなる傾向があります。状況に合わせて接着剤の配合やませ時間を調整したり、部屋を暖めるなどの配慮をお願いします。特に5℃以下の環境では糊の接着力が弱く、施工不良の原因になりますので、施工糊の注意事項を必ず守ってください。

●糊付け後の注意点

壁紙の品種や室内環境に応じて、適切なオープンタイムをとってください。施工を容易にするとともに、フクレの発生を防ぎます。また、壁紙をきつく折りたたんだり、湾曲部に荷重がかからないようにしてください。折れジワが発生し、元に戻らない場合があります。

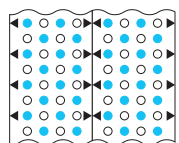
張り付け

●柄合わせマークについて

当見本帳収録の輸入壁紙には、柄合わせマークがありません。柄を確認しながら施工してください。

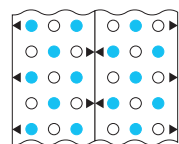
●柄合わせ方法について

「ステップ柄合わせ」は、一般的な「平行柄合わせ」とは合わせ方が異なりますので、ご注意ください。



◀ 平行柄合わせ

一般的な柄合わせ方法で、左右の平行位置で柄を合わせます。柄の繰り返しあまり気にならない、小さめの柄で多く採用されています。



◀ ステップ柄合わせ

正式には1/2ステップ、もしくは、ハーフステップと呼び、タテリビート寸法を半分ずらした位置で柄を合わせます。

柄の繰り返しが目立つと不自然に感じやすい大きな柄で採用され、半分ずらすことによって、より自然に見えるように配慮された方法です。

●三巾ほど施工した時点で状態を確認

商品検査には十分配慮しておりますが、念のため三巾ほど施工した時点で問題のないことをご確認ください。明らかに製品に欠陥があると判断された場合には、ただちに作業を中断し当社までご連絡頂けますようお願い申し上げます。三巾以降相当量の作業を進行した場合、施工費賠償の請求、商品の返品等は原則としてお受けいたしかねますのでご了承ください。

●入隅の処理は建物の構造に適した方法を

ボードやパネル下地の継ぎ目をまたいで壁紙を施工すると、入隅にフクレやよじれ・割れなどが発生する場合があります。これは、建物の構造上継ぎ目が振動の逃げ場になっているためで、避けることは出来ませんので、ご了承ください。

養生

●ホコリや汚れ

汚れが付きやすく拭き取りが困難なため、お取り扱いにはご注意ください。色柄やジョイント部の色差が発生する可能性があります。

●施工後は自然乾燥を

施工後は、接着剤が安定するまで自然乾燥させてください。その間、冷暖房を強くかけ過ぎないようにお願いします。急速に乾燥させると剥がれ・めくれなどの原因になります。

●換気を十分に

施工中および施工後一週間程度は、換気を十分に行なってください。換気が十分でないと、室内に臭いが残る場合があります。

廃棄上のご注意

●残材を焼却しない

壁紙の残材を焼却しないでください。

●壁紙の残材は適切な廃棄処理を

壁紙の残材を処理する場合は、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処分を委託してください。少量の残材を一般廃棄物(家庭ゴミ)として処理する場合は、市町村条例に基づき処分してください。なお、業者の方が廃棄する場合には産業廃棄物となりますのでご注意ください。